

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 2 月 1 日

事業所名 チャイルドハート諫早アウル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6		・建物が古いため構造的に改善は難しい。 ・医療的ケアが必要ななら不十分
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・日々の振り返りやケースカンファを実施 ・毎日の申し送りで周知している。	・日々の振り返りやケースカンファを実施 ・毎日の申し送りで周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	・今後家庭連携表を作成していく ・見やすい場所に掲示し日々意識を促している。	・今後家庭連携表を作成していく ・見やすい場所に掲示し日々意識を促している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・2年計画を立て目標を設定した勉強会を月2回ほど実施 ・月1~1回OT研修実施	・2年計画を立て目標を設定した勉強会を月2回ほど実施
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・担当者会議や感覚機能評価を実施。 ・全職員でアセスメント会議を実施。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	・1種類のアセスメント表を同時に利用している。	・2種類のアセスメント表を同時に利用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・活動会議により決定している。 ・リーダーに頼らず、全体で話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・季節ごとの制作を行っている。	・前年と比べて増えた。 ・季節ごとの制作を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			今後さらに支援に生かせるように具体的な計画書を作成予定
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		・翌日に実施している。 ・翌日のミーティングで振り返りを実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		計画書の目標と記録を連動している。	・個別目標に対し実施したか記入している。 ・計画書の目標と記録を連動している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2	職員が閲覧できる場所に保管している。	・職員が閲覧できる場所に保管している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・児発管・主任(OT)の二人体制で出席している。	・児発管・主任(OT)の二人体制で出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・お迎え時等直接先生と話している。 ・学校によってはFAXをしてくれたり、電話をくださるところもある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		・受け入れがない(3名) ・要望があればできると思う(3名)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	保育種痘訪問事業を開業予定	・担当者会議などに参加させてもらっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		・市町主催の研修会や勉強会に参加している。 ・地域の研修会に参加・開催している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	地域の児童館を利用している。	地域の施設を利用している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3		参加しているが全職員への周知をしていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時や面談を実施している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		・今後、開催予定 ・送迎時や都度電話や来所にて対応している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・書類でもお渡ししている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		・今後開催予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・活動の様子をお渡ししている。 ・メールなども利用している。
	35	個人情報に十分注意している	6			・写真等を掲載する時は個人特定ができないように工夫している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・メールやSNSを利用している	・メールやSNSを利用している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			・職員周知はあるが保護者まで周知されてるかわからない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			避難訓練などを年間4回以上実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・令和5年長崎県障害者虐待防止・権利擁護研修終了施設である。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	フロア内に防犯カメラを設置している。	・話し合いは行っているが現状実施する機会はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		契約時にアレルギー等の調査を行っている。また、毎年更新調査も実施。 ・調理活動前に保護者に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・申し送りの時にヒヤリハットの確認を行い記録し振り返り時に職員周知を行っている。